

人権を大切にしたい家庭や社会をつくるために

～結婚や家庭のことに関わって～

< 高等学校 >

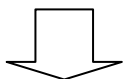
- 目的** 実社会に存在する差別の実態を知り、不合理や偏見を鋭く見抜く感性と差別を許さない態度を育てる。
 自立したひとりの人間としての生き方について、結婚問題を通して考える。
 家庭にかかわる人権問題について深く考え、人権を大切にする家庭や社会を築こうとする態度を育てる。

気づく

恋愛観や結婚観についての「アンケート」を実施する。そしてその結果について意見交流をし、恋愛や結婚に対してさまざまな価値基準があることに気づく

男女の性別や個人の価値観の違いによって恋愛や結婚に対して何を重要とするかを話し合う。
 様々な恋愛観、結婚観が存在することを確認する。個人の価値基準や人生観にかかわる部分なので、その多様性を尊重するとともに、自分のこととして考えていく。

アンケートの記入と集計。アンケートの内容を確認しながら個々に指名し、結婚の際それぞれが重視する項目を発言させる。
 恋愛や結婚で大切にしたいことのランキング表を作成。

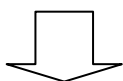


広げる深める

結婚に関わる差別の現実から学ぶ

結婚問題を通して、同和問題をはじめとした様々な差別の現実について知り、自分たちの問題として考える。
 世間体や家柄にこだわる結婚観について考える。
 結婚差別は、どの事例を見ても、当事者や家族だけでなく、その周りにいる友人や親戚、職場の同僚や、相談にのれる人の支えや努力によって解決する糸口が見出せることが多いということも知る。

結婚問題についての啓発ビデオや外部講師の活用。

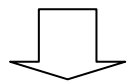


計画し、実践する

結婚に関する問題をはじめとして、DV、児童虐待など、主に家庭にかかわる人権問題について調べる

家庭にかかわる人権問題を他人事とせず、人権を大切にした家庭・社会を築くためにはどうすればよいか、自分自身の課題としてとらえ、まとめる。

新聞、インターネット、図書館の活用。近隣の人権センターをはじめとした関係機関への聞き取り調査。



振り返る

調査したことをまとめ、発表する

個々の発表を通して、実社会に存在する差別や人権侵害の実態を知り、人権を大切にする感性や態度を育てる。

プレゼンテーション等の方法を工夫する。



【学習を進めるにあたって】

- ・すべての生徒が結婚について夢や憧れ・希望を抱けるような学習内容にすることが大切である。
- ・人権を大切にした家庭や社会をつくるためには、男女共同参画の視点やまちづくりの視点、地域ぐるみの子育ての視点など、さまざまな視点とアプローチの仕方がある。人権学習の全体計画の流れの中で、生徒の実態をふまえ、多様な教材を考えていく必要がある。